

【情報提供】★平成30年度結核登録者情報調査年報集計結果の公表について

厚生労働省より平成30年の集計結果が公表されました。参考までに送付します。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00002.html

<国の概要>

○り患率は、12.3（人口10万対）で、減少。先進国の水準に近づいている。

○死亡率は、1.9（人口10万対）で前年度より減少。

○年齢階級別新規登録患者数は、80-89歳が29.1%。90歳以上で11.6%と増加傾向。

○外国生まれの新規登録患者数で最も増加したのは、20-29歳。次いで30-39歳。

入国5年以内に発症しているものが増加。

○日本生まれの新規登録患者数で最も多いのは、80-89歳。わずかであるが増加したのは、10-19歳。

○受診の遅れ（症状出現～受診まで2カ月以上）20.6% 依然として高い割合。

（30-59歳の有症状喀痰塗抹陽性肺結核に限定すると34.5%）

○診断の遅れ（受診～結核の診断まで1カ月以上）22.0%

○発見の遅れ（症状出現～結核の診断まで3カ月以上）20.7%

○合併症

新規登録結核患者のうち糖尿病を合併している人14.2%

新規登録結核患者のうちHIV陽性の人0.3%

○薬剤耐性

新規登録結核患者で薬剤感受性検査の結果が判明したもののうち、多剤耐性肺結核患者数は、前年より若干増加。

（培養陽性患者の0.6%）

※薬剤感受性検査の結果が判明したもののうち、4剤（HRSE）全てに感受性がある患者の割合89.0%

○医療従事者の感染は減少傾向。

看護師・保健師：40-49歳の層が最も多い。

医師：30-59歳。

その他：30-39歳が最も割合が大きい。

滋賀県 健康医療福祉部薬務感染症対策課

感染症対策係

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1

TEL: 077-528-3632

FAX: 077-528-4863

Mail: eh0003@pref.shiga.lg.jp

URL: <http://www.pref.shiga.lg.jp>